

- 問1 青森県と秋田県にまたがり、世界最大級の原生的なブナの天然林が分布していることから、1993年に世界自然遺産に登録された山地はどれか。
(2024年 青森県公立入試 類似)
1. 北上高地 2. 奥羽山脈 3. 知床 4. 白神山地
- 問2 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 福島県公立入試 類似)
1. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
2. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。
3. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。
4. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
- 問3 東北地方の6県を比較した統計において、ある県の果実の農業産出額は約833億円に達し、他の5県の132～147億円という数値に比べて突出して高い規模となっています。この県名と、その産出額の多くを占める果実の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2018年 富山県公立入試 類似)
1. 福島県（もも） 2. 山形県（さくらんぼ） 3. 長野県（りんご） 4. 青森県（りんご）
- 問4 東北地方の伝統的工芸品のうち、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に古くから作られており、鉄を主原料とした鋳物の工芸品を何といいますか。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 会津塗 2. 南部鉄器 3. 津軽塗 4. 天童将棋駒
- 問5 東北地方の最北端に位置し、北海道へと向かう新幹線の本州側における最後の停車駅がある県について、その農業の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を受けにくい。みかんの生産量が全国第1位である。
2. 冷涼な気候を活かしたりんごの栽培が非常に盛んで、その生産量は全国第1位である。
3. 盆地特有の気候を活かしたさくらんぼの栽培が盛んで、その生産量は全国第1位である。
4. 水はけの良い台地を活かした茶の栽培が盛んで、その生産量は全国第1位である。
- 問6 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側沿岸部から内陸部に向かって、オホーツク海から冷たい風が継続して吹き込む気象条件が続いた場合、現地の農業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。
(2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 山脈を越えて乾いた風が吹き降りることで、日本海側で干ばつの被害が広がる。
2. 日照時間が不十分で、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。
3. 暖かい湿った空気が供給されることで、熱帯夜が続き農作物の品質が向上する。
4. 気温が大幅に上昇し、乾燥した風によって農作物の水分が奪われる。
- 問7 青森県に位置する縄文時代の代表的な遺跡である三内丸山遺跡の周辺では、1988年から2022年にかけて大規模な土地利用の変化が見られました。1988年当時とは遺跡のすぐ西側に広がっていた空地や平地において、その後の地域開発によって新たに整備された、地域の交通網を大きく変化させた要素として最も適切なものはどれですか。
(2024年 福島県公立入試 類似)
1. 大型旅客機が発着するための国際空港の滑走路建設
2. プロ野球やサッカーの試合を行うための県営運動公園の整備
3. 製造業の拠点を集約した大規模な工業団地の造成
4. 東北新幹線をはじめとする鉄道の建設
- 問8 日本の都道府県の特徴をまとめた資料において、東北地方に位置し、奥州藤原氏が築いた平安時代の文化を今に伝える「中尊寺金色堂」がある県について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 三重県公立入試 類似)
1. 勇壮な山車が練り歩くねぶた祭で知られ、古くから津軽塗と呼ばれる漆器の生産が伝統産業として受け継がれている。
2. 平安時代末期の浄土教建築を代表する建造物があり、江戸時代から続く鋳物技術を活かした南部鉄器の生産が盛んである。
3. 花笠まつりなどの伝統行事が行われ、全国的なシェアを誇る天童市の将棋の駒づくりが地場産業として発達している。
4. 西陣織などの高級な絹織物の生産地であり、室町時代に建てられた金閣などの歴史的な寺社が数多く残されている。
- 問9 東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 長野県公立入試 類似)
1. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす暑い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる。
2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす。
3. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する。
4. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する。
- 問10 日本の地方別の統計において、米の農業生産額が全国の約四分の一（25パーセント以上）を占め、全国で最も高い割合を示している東北地方の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 福井県公立入試 類似)
1. 都市への出荷に有利な立地を生かし、米よりも野菜や花の生産額が上回る近郊農業が中心となっている。
2. 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。
3. 成長の早い米の品種を利用し、一年のうちに同じ土地で二回米を収穫する二期作が全域で行われている。
4. シラス台地が広がる地域を中心に、豚や鶏などの飼育が盛んな畜産中心の農業が展開されている。
- 問11 東京駅から東北新幹線に乗り、関東地方から北上して東北地方に入った際、最初に通過する県はどこか。この県は東北地方の最も南に位置しており、交通網の整備に伴って工業が発展した特色を持つ。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 宮城県 2. 岩手県 3. 山形県 4. 福島県
- 問12 宮城県の沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国生産量の約六割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 福井県公立入試 類似)
1. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。
2. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。
3. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。
4. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮境（潮境）が近いので、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 白神山地	1993年に屋久島とともに日本で初めて世界自然遺産に登録された地域である。「青森県と秋田県の県境」という位置と、「ブナの天然林」という植生が最大の判断ポイントとなる。誤答の奥羽山脈は、東北地方の中央を南北に走る日本最長の山脈であり、地理的な位置や特徴が異なるため注意が必要である。
問2	答え 1 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。	東北地方の日本海側や青森県では、冬にシベリア大陸から吹き出す湿った冬の季節風が奥羽山脈に遮られることで、世界でも有数の豪雪地帯となります。また、緯度が高いことや山地の影響により、1月の平均気温が0度を下回る氷点下（0度未満）の厳しい寒さになることが特徴です。一方、1月の降水量が少なくなるのは山脈の風下にあたる太平洋側の特徴であり、8月の平均気温が低くなるのは「やませ」の影響を受ける太平洋側の特徴です。
問3	答え 4 青森県（りんご）	東北地方において、果実の産出額が他の県を圧倒して高いのは青森県です。青森県はりんごの生産量が日本一であり、全国の約半数のシェアを誇ります。選択肢にある山形県（さくらんぼ）や福島県（もも）も全国的な産地ですが、産出総額において青森県のりんごは非常に大きな規模を持っています。なお、長野県もりんごの産地として有名ですが、東北地方ではなく中部地方に属するため、統計の対象から外れます。
問4	答え 2 南部鉄器	岩手県の盛岡市や奥州市で江戸時代から受け継がれてきた鉄鑄物の工芸品です。厚みのある鉄が熱を均一に伝え、保温性に優れているという特徴があります。他の選択肢について、津軽塗は青森県、会津塗は福島県、天童将棋駒は山形県の伝統的工芸品です。
問5	答え 2 冷涼な気候を活かしたりんごの栽培が非常に盛んで、その生産量は全国第1位である	問題文にある県は、地理的特徴と交通網の記述から青森県を指します。青森県は本州の北端に位置し、北海道新幹線の本州側の終点付近にあたる交通の要所です。気候面では冷涼な環境を活かしたりんごの栽培が国内で最も盛んであり、全国生産量の約半分以上を占めています。選択肢にあるさくらんぼは山形県、茶は静岡県、みかんは和歌山県などが主な産地です。
問6	答え 2 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。	北東から吹き込む「やませ」は冷たく湿った性質を持っているため、この風が長期間吹き続けると太平洋側を中心に気温が上がらず、霧が発生して日照時間が減少します。特に稲の開花や結実の時期に重なると、収穫量が激減する「冷害」の原因となります。このため、東北地方では冷害に強い品種（ササニシキからひとめぼれ等への転換など）の改良が行われてきました。
問7	答え 4 東北新幹線をはじめとする鉄道の建設	三内丸山遺跡の西側の土地は、1988年時点では目立った建造物のない空地や平地が目立っていましたが、その後の東北新幹線の新青森駅への延伸に伴い、大規模な鉄道建設が行われました。地形図の比較においても、以前は何も描かれていなかった場所に線路の記号が新たに加わっており、高速交通網の整備が地域の景観と利便性を大きく変えたことが読み取れます。なお、この周辺には運動公園も存在しますが、遺跡のすぐ西側の主要な変化としては新幹線の通る鉄道網の整備が地理的に重要な特徴となります。
問8	答え 2 平安時代末期の浄土教建築を代表する建造物があり、江戸時代から続く鑄物技術を活かした南部鉄器の生産が盛んである。	岩手県には、奥州藤原氏が平泉に築いた中尊寺金色堂があり、これは世界文化遺産「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」の構成資産となっています。また、盛岡市や奥州市を中心に生産される南部鉄器は、地域の鉄資源を活用して発展した伝統的工芸品です。他の選択肢にある「ねぶた祭」や「津軽塗」は青森県、「花笠まつり」や「将棋の駒」は山形県、「西陣織」や「金閣」は京都府に関する記述です。
問9	答え 3 オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。
問10	答え 2 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。	東北地方は秋田平野、庄内平野、仙台平野といった広大な平野を有しており、これらを利用した大規模な米作りが盛んです。日本の食料基地（穀倉地帯）と呼ばれ、米の農業生産額において全国で圧倒的なシェアを誇っています。選択肢にある畜産中心の記述は九州地方、二期作はかつての高知県などの特色であり、東北地方は冷涼な気候のため一期作が一般的です。
問11	答え 4 福島県	福島県は東北地方の南の玄関口に位置しており、新幹線や高速道路によって関東地方と強く結びついている。地理的に東京などの大都市圏に近いことから、東北地方の中でもいち早く工業化が進んだ。宮城県は福島県の北に位置し、山形県は奥羽山脈を挟んで西側に位置している。
問12	答え 3 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。	リアス海岸の入り組んだ地形は、養殖に必要ないかだを安定して浮かべるための静かな水面を提供します。また、背後に迫る山々から川を通じて森の栄養分が海へ流れ込み、カキの餌となるプランクトンが大量に発生することも、全国有数の生産量を誇る重要な要因です。潮目での漁獲は沖合漁業の特徴であり、一度放流してから捕る方法は「栽培漁業」の説明です。